

目的

- ・暮らしやすい環境とは何かを考える
- ・暮らしやすい地域社会とは何かを
考える

暮らし

広辞苑、大辞林

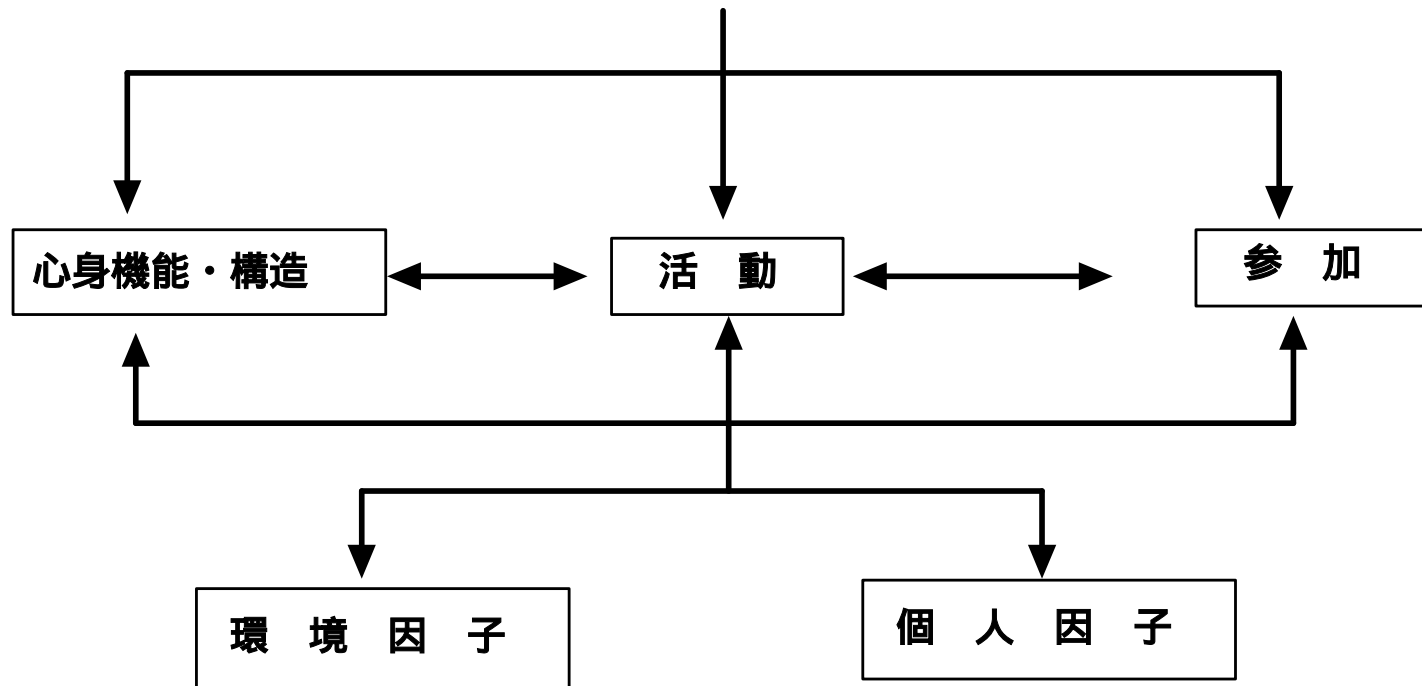
生活すること、生存して活動すること、生きながらえること

憲法題25条：国民の生存権

すべての国民は健康的で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する

國際生活機能分類 (I C F)

健康狀態 (變調 / 疾病)



環境分類

自然環境

物的環境 住宅、福祉用具

社会的環境 人的環境、社会資源
的環境、施設的環境

經濟的環境

政治的環境

ノーマライゼーション

高齢者も壮年も児童も、そして障害がある人もない人も、病んでいる人もいない人も、皆が共に普通の生活ができる地域社会を作っていこうという考え方。

クオリティ・オブ・ライフ(QOL)

生命の質、生活の質、生命の質、人生の質を高めるという考え方。

バリアフリー

『バリア = 障壁』と訳され4つに分類され、
バリアのない、バリアから解放された街
づくりを推進するために定着した言葉。

物のバリア

意識のバリア

文化・情報面のバリア

制度のバリア

交通バリアフリー法

高齡者、身体障害者の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律

ハートビル法

高齡者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律

ユニバーサルデザイン

“万人向け”という意味もあり、障害のある方だけでなく、高齢者や妊婦、子ども、さらには外国人までも暮らしやすい街づくりの考え方。

まとめ

人は人と支えながら生活しています。

暮らしやすい地域社会づくりは、まず人の心のバリアを開放することから、始まるのではないのでしょうか…。